

大容量蓄電システム需給バランス改善実証事業の実施について

九州では、太陽光発電を中心に再生可能エネルギー（以下、再エネ）の普及が急速に進んでいます。このため、昨年 12 月に国において九州本土の太陽光発電の接続可能量（817 万 kW）が検証されました。

また、昨年 12 月末には太陽光発電の接続済と連系承諾済の合計が、接続可能量（817 万 kW）に到達すると共に、当社は太陽光発電の指定電気事業者指定されました。

当社は、電力の安定供給を前提として、今後も再エネの円滑な接続に向けた対応を進めてまいります。

今回、その取り組みの一つとして、標記の国の補助事業に応募していましたが、本日、交付決定通知を受けたことから、下記のとおり、実証事業を実施いたします。

記

1 実証内容

- ・ 大容量蓄電池を電力系統に接続し、揚水発電と同等の電力貯蔵機能を活用した、需給バランスの改善に関する実証を実施。
- ・ 大容量蓄電池の有効活用策として、系統電圧制御への適用に関する実証を実施。

2 蓄電池容量

- ・ 出力：5 万 kW（容量：30 万 kWh 程度）

3 蓄電池設置場所

- ・ 豊前発電所構内（福岡県豊前市）

4 実施期間

- ・ 平成 27 年度～平成 28 年度（予定）

以 上